

留学報告書 II (2020 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	高等学校 2 年
留学先校名	Shrewsbury School
留学期間	2020 年 9 月から 2021 年 7 月まで

留学前

なぜ留学を志しましたか？また、留学を志した時期はいつ頃ですか。

高校 1 年の夏に、この派遣留学制度があることを知りました。祖父がマンチェスター大学に留学していたこともあり、幼いころから「イギリス」が身近にありました。そういった経緯もあり、イギリスの Shrewsbury School を志望しました。

僕は合気道を学んでいます。海外には行ったことはありませんでしたが、合気道の道場にはカナダ・オーストラリアやチリなどから合宿に来ます。世代や国籍などさまざまな人との交流から自分以外の視点をもつ大切さ、相手の立場で考えることの大切さを学びました。留学では、現地に身を置き、学内、学外での交流を図り、さまざまなことを吸収したいと考えました。

派遣留学先では、どのようなことを期待していましたか？

Shrewsbury School は、「名門ボーディングスクール」に位置付けられます。伝統と歴史の中で築かれた環境に身を置くことで、僕の初めての海外体験により影響があるのではと感じました。

実は、ボーディングスクールについて事前に調べましたが、最初は慶應高校での運動会や文化祭などをクラスや部活で協力することの違いがわかりませんでした。ほんのちょっと、親から離れて生活すると、友達と住むことには憧れていていました。寮の友達と一緒に勉強し、夜まで交流することを期待していました。

留学を振り返って

1 月にコロナウイルスでのロックダウンがあり、2nd term の半分以上がオンライン授業、また 7 月初旬の最後の週も学校でのコロナの感染者増加でオンライン授業になってしまい期待通りの留学生活は過ごせませんでした。それでも、学校生活はある程度経験することができましたので満足しています。

Shrewsbury School のよかった点は、慶應高校のようなバックグラウンドを持った家庭出身の生徒が多かったので比較的、気楽に過ごすことができたことです。進学校ではあるのですが、Lower 6th ではまだ大学進学を考えずに学年全体が慶應高校のようにリラックスした感じでしたので、あまり気張らず自分のペースで勉強に励めました。フレンドリーな生徒が多く、同じ寮の友達や寮の異なる友達から家に招待されたので、帰国前に訪れることができました。また、先生との距離も近く感じられました。数学を教えていただいている先生たちはもちろんのこと、直接は教わっていない数学の先生ともいい関係を築けました。例えば、先生が毎週 Maths Clinic で 3rd や 4th、また Upper 6th にも数学を教えており、それを手伝うことは貴重な経験でした。

Shrewsbury School での悪かった点は、アジア人とイギリス人で別々のグループで集まりがちなところです。とくに、Oldham's の Lower 6th では British, Asian, と New Entrant のグループがあります。人種間の交流は難しく社会の縮図を感じました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

スポーツ: サッカー (秋)、ホッケー (冬)、陸上 (春)

楽器: クラリネットアンサンブル (バスクラリネット)、シニアトランペットアンサンブル、ジャズバンド (トランペット)、ビッグバンド (トランペット)

ハウスアクティビティ: Paint balling、寮対抗のサッカー、Pedal boarding

スポーツや音楽活動を通して寮以外の友達と仲良くすることができたと思います。特にサッカーではプレーするのが初めてだったため一番下位のチームでしたが、メンバーが20人もいたため色々な人と知り合うことができました。

学校内や寮内で、コロナ対策としてどのようなルールがありましたか？

食堂では、座って食べる時以外はマスク着用が義務でした。また、食堂で並ぶのは密なため寮ごとに立つスペースが設けられており、順番に呼ばれました。

授業の際は、建物の前で先生が来るまで待機していました。

寮では、その寮以外の生徒は入れませんでした。

学校内では”bubble”という枠組みでコロナ対策をしています。学年や寮、クラスのパブルがあり、パブル内ではマスクはいりませんでした。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

Pippa's Guardian のホストファミリーの家に行きました。最初のタームは、Shropshire にあるいろいろなホストファミリーの家に行きました。クリスマス休暇では、ロックダウンだったため一つのホストファミリーにお世話になりました。それ以降の休みでは、そのホストファミリーの家に行きました。マンチェスターやオックスフォード、バーミンガムに連れていってもらい買い物や観光をしました。友達の家を訪問する際には、ホストファミリーの家にスーツケースを置いて、リュックで行きました。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。対面授業とリモート授業でどのような違いがあったかも教えてください。

1 コマは40分と短く、4教科（それぞれ週8コマ）まで選ぶことができます。5教科を選ぶ生徒もいますが、大変です。

Further Maths はクラスが2つあります。Set 1 と Set 2。11月の試験でクラス分けが行われました。Set 1の方が早く教科書を進むので、11月以降クラス替えはありませんが、途中生徒の出入りはありました。Pure Maths が週8コマ、Mechanics が4コマ、Statistics が4コマあり、それぞれ先生は違います。Pure では12月までがBook 1、5月までBook 2で翌年の範囲に入ります。Mech では12月までBook 1、2月までPureの教科書にあるベクトルと数列を扱い、6月までBook 2でそのあと翌年の範囲に入りました。Statistics では1月までBook 1、6月までBook 2で翌年の範囲に張りました。先生にもよりますが、僕の先生は授業内テストを行いませんでした。また、教科書を早く進んでいるため時間に余裕があり、A-Levelのシラバスにない範囲について話すこともあります。数学の大会への準備は授業中に行いません。宿題は毎週教科書の問題です。授業は、全て先生が生徒に質問して授業を進めていました。オンラインでは、授業内演習が多くなりました。僕は紙に授業の内容を書いていたのですが、iPadでOneNoteに書き込む生徒もいました。授業中に使用した教材は全て、先生がOneNoteにアップロードしています。

Physics は週8コマありました。毎週、2コマ連続しているときに実験を行っていました。実験後は、グラフや結論などを専用のノートに書いていました。普段の授業では先生が、One Noteに書き込み説明し、僕たちはパソコンやノートに記入していました。オンラインでは、実験はなく講義形式の授業になります。宿題は、1週間後提出の課題が多かったです。教科書の章末問題や、計算問題、A-Levelの過去問などでした。実験のレポートはすべて授業中に行っていました。

Spanish も週8コマありました。先生の一人は寮にresident tutorとして住んでおり、もう一人の先生も土曜日担当のOldham'sのtutorでした。また、オーラル（スピーキング）の授業が週30分ありました。オーラルでは、別のスペイン語をとっている生徒と二人でスピーキングカードの質問に答えていました。普段の授業では、文法を習ったり、教科書の内容をやったりしていました。また、映画(El Laberinto del Fauno)の鑑賞と分析、また劇(La Casa de Bernarda Alba)を読んで分析しました。宿題では、教科書の英訳やリスニングなどの課題、300字のエッセイの課題がありました。

リモート授業について

苦労したことや、工夫したことを教えてください。また日本から参加した場合は、生活スタイルについても教えてください。

先生が目の前にいなくて集中することが、難しく感じました。質問は、先生にメールで聞きました。僕は、オンラインの授業中もイギリス国内にいたので日本にいる場合については詳しくは話せません。オンラインの期間中に帰国した中国人の友達は時差で午後の授業に参加できなかったもので、先生が授業の録画していました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

科目は、日本でそこまで習っていない科目でも選択しても問題ないです。得意でなくても、先生がサポートしてくれます。9月の最初の2週間はまだ科目変更を行えるので迷っている科目があれば Housemaster/mistress と相談して試してみるのもいいと思います。

数学はいろいろな大会に参加でき、先生もフレンドリーで大学範囲について話したりすることができるので1週間に16時間も数学の授業がありますが Further Maths はおすすめの科目です。

また、フランス語やスペイン語などの言語は、英語に似ている単語も多数あるので英語のボキャブラリーを増やすのに最適だと思います。授業中はその国の歴史や、現在の経済状況などいろいろ深く勉強できるのでおすすめです。

歴史や宗教のような、日本では深く習えない科目をとるのもいいと思います。いろいろトライしてみ、好きな科目を是非選んでください。

充実した音楽設備があるので、歌や楽器などの音楽のレッスンは取って損はないと思います。トランペットやクラリネット、バイオリンなどは自分のものを飛行機で持っていくことができます。レッスンでは慣れている自分の楽器を使った方がいいと思います。もちろん、Music Department の先生に頼めば楽器を貸してもらえます。また、Trinity のグレードは持っていない人が多いかと思いますが、心配せずに色々なアクティビティに挑戦してみてください。

日本人はあまりいませんので馴染むのに苦労するかもしれませんが、アジア人のグループの中だけに身を置くことなく、バランスよく友達付き合いするといいと思います。

以上

Week A (WKA)						
P	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
P1	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4		Spanish, LLSP Mr Morris, apm C1	Physics, LMPH1 Mr Smiler, as P1	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4	Further Maths, LKMFs1 Mr Armstrong, jca C4
P2	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4	Spanish, LLSP Mr Morris, apm C1	Physics, LMPH1 Mr Smiler, as P1	Further Maths, LKMFs1 Mr Armstrong, jca C4	Spanish, LLSP Mr Morris, apm C1
P3	Physics, LMPH1 Mr Smiler, as P1	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4	Further Maths, LKMFs1 Mr Armstrong, jca C4	Further Maths, LKMFm1 Mr Cropper, mc C4	Spanish, LLSP Mr Cowper, shc C1	Physics, LMPH1 Mrs Smiler, aes P3
P4	Spanish, LLSP Mr Cowper, shc C1	Further Maths, LKMFm1 Mr Cropper, mc C4	Further Maths, LKMFm1 Mr Cropper, mc C4	Spanish, LLSP Mr Cowper, shc C1	Further Maths, LKMFm1 Mr Cropper, mc C4	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4
P5	Spanish, LLSP Mr Morris, apm C1		Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4	Spanish, LLSP Mr Cowper, shc C1		
P6	Physics, LMPH1 Mrs Smiler, aes P3	Physics, LMPH1 Mr Smiler, as P1		Further Maths, LKMFs1 Mr Armstrong, jca C4	Further Maths, LKMFp1 Mr Filton, rtf C4	
P7	Physics, LMPH1 Mrs Smiler, aes P3	Physics, LMPH1 Mrs Smiler, aes P3				